

一般演題 概要

A1 タイ国における指導員養成講習会のアンケート結果

○斎藤秀俊、Sarayat Tunmee (長岡技術科学大学)

A2 諸外国における Uitemate 指導員養成の結果と成果

— スリランカ国及びタイ国における普及活動 —

○木村隆彦 (赤穂市消防本部)

平成 24 年 11 月にスリランカ国コロombo市において、水難学会が初めて認定する他国内 Uitemate 指導員養成講習会を開催した。また平成 25 年 11 月にはタイ国バンコク市において、水難学会国際ワークショップ並びに Uitemate 指導員養成講習会を開催した。

これらは水難学会活動方針である「世界普及にむけて」を推進する事業であり、Uitemate の普及と共に、諸国で発生した水災害の現状を精査し、わが国の水災害による死亡低減策を講じることを目的としている。

本講演では、両国において実施した事業の詳細を報告し、Uitemate 世界普及の効果を明らかとする。

B1 見学者も立派な受講生 —絵日記の分析から見えたこと—

○柴山美幸 (Be スポーツ横浜)、安行由美子 (南関東地区着衣泳指導員)

学校の授業において着衣泳講習を行う場合、プールに入ることができずに見学をする生徒が毎回数人いる。授業後に描いてもらった絵日記を分析すると、見学者も非常によく着衣泳を理解していることが分かった。指導員は実技講習者に向けて授業を進めてしまいがちだが、見学者への配慮も必要なことを認識したので報告する。

B2 講習会前に学校と調整するための打ち合わせシートの作成

○武山太賀 (高萩市消防本部)、本多一博 (高萩市消防本部)、

安行由美子 (南関東地区着衣泳指導員)、金子満 (さいたま市消防局)

指導員が、学校での講習会を開催するのにあたり、効率良く学校との打ち合わせができるよう、「着衣泳講習に関する打ち合わせシート」を提案する。漏れなく学校の背景を把握でき、イメージする講習会を容易に精査できる。また、打ち合わせが効率良く進むことによって、依頼者から講習会に対し信頼が得られる効果が期待される。

C3 着衣泳を普及させるための方策 ～BLS 普及活動を行った経験から～

○立岡伸章、北林司、千葉智博、工藤春月、福士尚葵 (弘前医療福祉大学短期大学部)

各地で着衣泳講習会が開催されているが、開催回数十分にされているとは言えない。

着衣泳指導員の多くは消防職員であり、公務員という立場上開催にあたっては様々な問題をクリアしなければ講習会を開催できない。そこで民間の救命士養成校 (以下：養成校) の学生が着衣泳指導員として、養成校が中心となって行政 (教育委員会、消防)、医師会、体育協会、地域住民等と連携を図り普及啓発をしていく方法を検討した。

C4自らがバイスタンダーになった水難事案

○都甲 卓樹(豊後高田市消防本部)

豊後高田市の新春を祝う祭の最中、餅を拾っていた男性が川に落水したもの。偶然、その場を通りかかり、自らバイスタンダーとなった事案である。川を見下ろすと、男性はかろうじて顔を水面に出していたが、もがくような動作をしていた。私は声かけとともに、119番通報を行い、何か浮くものかロープを探した。私が目にしたのは、水道ホースであった。